



フットフットマガジン9月号

ディビジョン2で奮闘
の続くトルシーダから
鈴木さんがMIPに！



大混戦を制したのは新鋭ポゼッション!!

今月からディビジョン1に昇格したポゼッションが、初日第1節目で夏の王者・三井不動産ア式蹴球倶楽部を9対3で下し、早くも波乱の予感が漂った9月ステージ。しかし年間王者最有力のボアソルチが、ポゼッションの勢いを削ぐ勝利を収める。

翌週、三井にも敗れ連敗を喫したポゼッションは、自力優勝が消滅。最終日を迎え、優位に立ったのは三井。自力優勝の可能性を残したボアソルチがポゼッションに敗れたため、最終節のボアソルチ戦で引き分け以上で優勝を手にすることができる。試合は序盤から三井が支配。立て続けに得点を重ね、一時は4点のリードを奪った。しかしベテラン揃いのボアソルチは揺るがない。反撃のスイッチを入れ、流れを急転回。冷静な組み立てからゴールを量産し、逆転勝利。ぎりぎり以降格を免れた。

この結果、全チームが勝点6で並ぶ大混戦となり最後に浮上したのは新鋭ポゼッション。得失点差でわずかに上回り、初優勝を飾った。

ディビジョン2ではFC dominiが貫禄の全勝優勝。久々のリーグ制覇に向けて、準備は整っているようだ。